

仲間づくり

10月13日（金）に、学力向上フォーラムがありました。

例年、フォーラムの内容は、大学の研究者や文部科学省の講演と実践発表でしたが、今回は、ポスターセッションが行われました。

ポスターセッションと実践発表により、県の学力向上推進事業推進校すべての実践発表を見ることができました。

通常、特に成果を出している、または、特色ある実践を行っている数校の発表ですが、ポスターといえどもすべての取組を見ることができたのは大変収穫がありました。

ポスターセッションは、大変な盛況で、限られた時間でしたが、先生方の盛んな交流を見ることができました。

ポスターセッションには、2つの良い点があると考えます。

1つは、1カ所ですべての実践を見ることができることです。通常、研究発表会へ出向く必要があり、授業を補欠か入れ替えをして出張しなくてはなりません。今日、出張もそんなに簡単にできる状況ではありませんから、大変有効ことです。

そして、その学校の先生と直接やりとりができる利点もあります。

次に、県内の同じ目的をもつ「仲間」との出会いの可能性があるので。

同じ目的を持つ優秀な先生との出会いがあり、自主研修やメールのやりとりなどで一生涯の切磋琢磨ができる仲間になるかもしれません。

能登ではたらく先生が、加賀の先生と出会い、共同研究を行い、それぞれが実践することができます。

私は、経験上からも2つめの効果に期待します。

学校内の狭い学びを超え、県内そして全国で仲間を見付けて共に学び合う、これほど刺激があり、力をつけることができる方法はありません。

今回は、久々に活気がある能動的な学びを行う先生方を見ることができました。

参加していた先生方、お疲れ様でした。この成果を学校で児童生徒に返してください。

よろしくお願いします。